

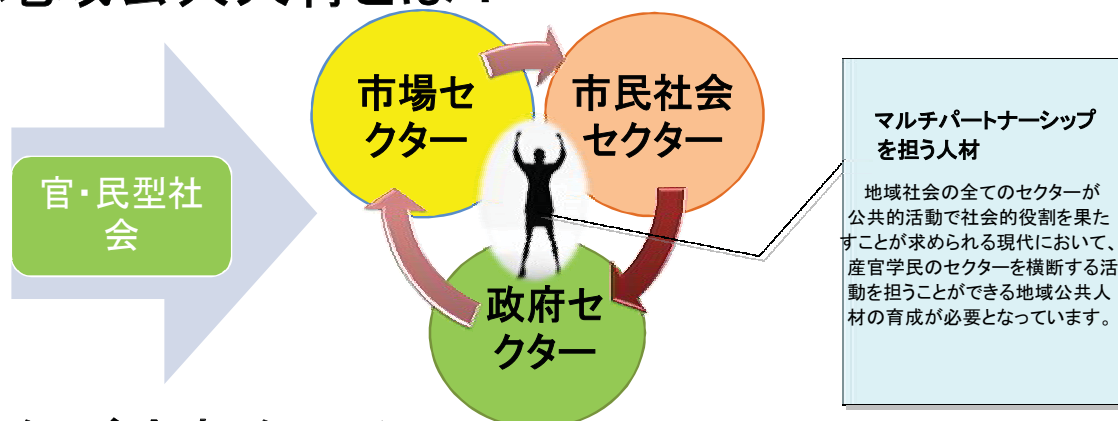
戦略的大学連携支援事業 教育研究高度化型
『地域公共人材のための京都府内における
教育・研修プログラムと地域資格認定制度の開発』

京都発！地域公共人材の育成と活用

事業の目的

- 協働型社会に求められるセクター横断型の地域公共人材育成のための教育・研修及び地域資格認定制度の開発

地域公共人材とは？



なぜ京都なのか？

- 京都には、大学間の連携協力体制が整っています。（例）（財）大学コンソーシアム京都など
- 文部科学省の私立大学学術研究高度化推進事業（LORC※）を通じて形成された産官学民の社会的連携協力体制の基盤も確立しています。



龍谷大学内に設置された研究センターのひとつであり、今日の地域社会に求められる人材の育成システムを模索し、大学と地域社会との連携を深めることによって活力ある市民社会の実現への貢献を目指しています。

京都地域における産官学民の戦略的連携協力スキーム



具体的な事業内容

- ①大学間の資源の相互活用—人材育成資源の共有を通じた特色ある大学づくりを行います。
- ②共通プラットフォーム形成による大学における教育研究の質の向上をはかります。
- ③地域社会が求める人材像に即応した教育カリキュラムの開発と質保証を行います。
- ④履修証明制度を活用した地域資格認定制度を開発します。

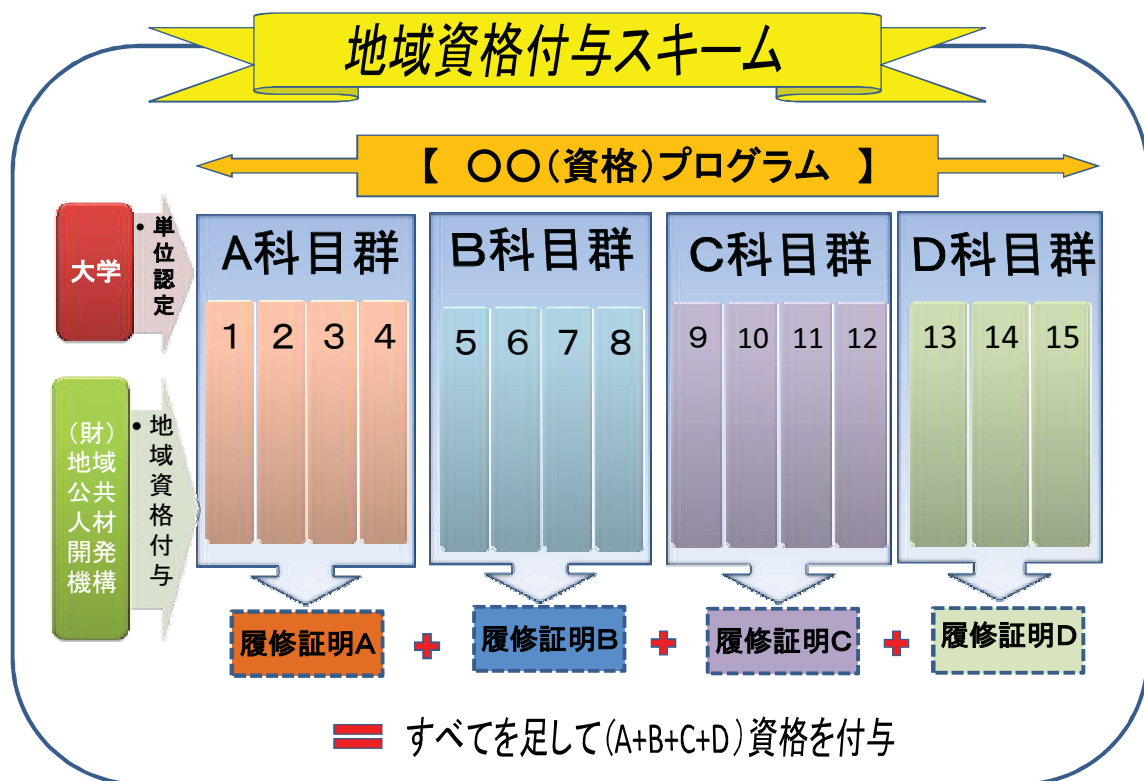
地域資格認定制度の導入

地域資格認定制度とは？

- 大学の教育システムのみならず、自治体・NPO・企業等の研修システムを統合した一連のプログラムの修了者を対象とし、地域の公共的活動にかかる人材育成におけるその資質やスキルを可視化させ、各セクターを横断して活用できる京都発の地域資格の仕組みです。

(*) 履修証明制度 (certification)

- 履修証明制度 (certification) は欧米で発達していますが、日本においても2007年6月に学校教育法が改正され、履修証明制度が創設されました。この制度は、基本的には一定の学習・研修に対して単位認定証を発行し、その積み重ねで社会的に通用する資格を与える制度です。



地域資格の社会的効果

